

認定歯科衛生士 新規申請書類一式



一般社団法人 国際口腔インプラント学会
ドイツ口腔インプラント学会 日本支部

認定歯科衛生士 認定申請書

20 年 月 日

国際口腔インプラント学会 認定審査委員会 御中

国際口腔インプラント学会 認定制度規則に基づき、認定歯科衛生士の認定を受けたく認定審査料(払込金受領書のコピー)を添え、下記の関係書類を提出いたしますので審査願います。

ふりがな
申請者氏名

印

記

- 1・本書(様式1)
- 2・履歴書(様式2)
- 3・実務経験証明書(様式3)
- 4・認定歯科衛生士申請患者一覧表(様式4)
- 5・症例報告書(様式5)
- 6・口腔内写真(様式6、7)
- 7・歯科衛生士免許証(コピー、A4縮小可)
- 8・認定審査料(受験料等払込金受領書のコピー)

履歷書

20 年 月 日現在

氏 名	ふりがな			写真を貼る位置 1. 縦 36～40mm 横 24～30mm 2. 本人単身胸から上 3. 裏面にのりづけ 4. 裏面に氏名記入
生年月日	西暦	年 月 日 生	(満 歳) 男 ・ 女	
電話番号 (携 帯 も 可)		E-MAIL	※要PCメール対応	
現住所	ふりがな			
	〒			
所属 医療機関	機関名			電 話 () —
	住 所	〒		常 勤 ・ 非 常 勤
ISO1 入会日	西暦	年 月 日 入会～現在 (年 ヲ月間)		

年	月	学歴・職歴

※学歴…高校卒業年月から記載 ※職歴…歯科衛生士勤務歴を記載

資料の送付先	自宅・勤務先・その他 住所
--------	---------------

実務経験証明書

20 年 月 日

申請者

上記申請者は下記の通りインプラント治療について実務経験を行い、
認定歯科衛生士に必要な実務経験があることを証明致します。

所属長 _____ 印

記

1. 当施設における継続的なインプラント実務経験について

実務経験期間 (※1) 年 月

実務経験場所 _____

指導者名 _____

指導者の認定資格 (※2) 有 ・ 無

※1 実務経験は3年以上必要です。3年に満たない場合は以前勤務していた 医
院での証明も必要です。受験日において合計して3年の実務経験の証明が必要
です。

※2 国際インプラント学会 認定医資格。

認定歯科衛生士 申請患者一覧表

※患者氏名はイニシャルで記入して下さい。

症例 No.	患者氏名 (イニシャル)	年齢	性別	初診時 の年齢	初診年月日	最終メンテナンス年月日
1						
2						
3						
4						
5						

症例報告書

症例No.

患者氏名 (イニシャル)	生年 月日	年 月 生	年齢	歳	男 ・ 女
インプラント 埋入部位				その他手術	
欠損形態	単独欠損 中間欠損 遊離端 全顎欠損				
主 訴					
初 診 日	年 月 日	☐ 術前口腔内写真の撮影 ☐ 術前口腔内環境の改善 ☐ 手術前指導			
インプラント 施 術 日	年 月 日	☐ 埋入手術第一アシスタント(※) ☐ 埋入手術第二アシスタント ☐ 手術後指導 ☐ 第三補助者			
最終補綴物 装 着 日	年 月 日	☐ 補綴処置の補助・介助 ☐ 術後口腔内写真の撮影			
メンテナンス 移 行 日	年 月 日	☐ 術後口腔内写真の撮影 ☐ メンテナンス前患者指導			
最 終 メンテナンス日	年 月 日	☐ 検査・指導 ☐ ケア等			
症例の概要					
検査結果、それ に対する患者指 導した内容等					
考 察					

* 第一アシスタント...器具出しアシスタント 第二アシスタント...バキューム、鉤引き

第三アシスタント...外周アシスタント

症例報告書

症例No. 1

患者氏名 (イニシャル)	K・H	生年 月日	1980年10月生	年齢	30歳	男・女	女
インプラント 埋入部位	3456				その他手術 サイナスリフト		
欠損形態	単独欠損 中間欠損 遊離端 全顎欠損						
主 訴	歯牙の動揺による疼痛 欠損部位の補綴希望				補助・介助等、関わった項目に ☒		
初 診 日	2003年4月12日	☒ 術前口腔内写真の撮影		☒ 術前口腔内環境の改善		☒ 手術前指導	
インプラント 施 術 日	2004年6月5日	☒ 埋入手術第一アシスタント(※) ☐ 手術後指導 ☐ 第三補助者		☐ 埋入手術第二アシスタント			
最終補綴物 装 着 日	2005年6月4日	☒ 補綴処置の補助・介助		☒ 術後口腔内写真の撮影			
メンテナンス 移 行 日	2005年6月25日	☒ 術後口腔内写真の撮影		☒ メンテナンス前患者指導			
最 終 メンテナンス日	2009年12月5日	☒ 検査・指導		☒ ケア等			
症例の概要	歯牙の動揺による疼痛と左側上顎部の欠損補綴を主訴に来院した。補綴治療に先行して歯周基本治療の必要性があり、スケーリング、SRP、プラークコントロール等により口腔内の環境改善を行いました。インプラント埋入部位の歯槽骨高径と頬舌的幅が少 ない為、サイナスリフトとボーングラフトを施術、6ヶ月後に4本のインプラントを埋入、12ヶ月後に上部構造を装着した。6ヶ月毎のメンテナンスは良好。						
検査結果、それ に対する患者指 導した内容等	初診からメンテナンスまで担当した。歯周病が中等度に進行しており、歯周基本治療を先行して行い、初診時のPCRは80%で、TBI、SRP、禁煙指導、食生活指導を行い、再評価時のPCRは14%と改善した。2003年11月1日インプラント埋入予定部位のサイナスリフトとボーングラフトを施術、補助として手術室の準備、器具の滅菌消毒と第一助手を務めた。インプラント埋入手術の術前指導を行い、手術当日は、第一助手を務めた。プロビジョナルの形態にて、ブラシの種類、サイズ等を担当医と、技工士と共に検討し、プラークコントロールしやすい最終補綴物の作製に関わった。2005年6月25日にメンテナンスに移行し、2009年12月5日のメンテナンス時も良好な状態を維持している。						
考 察	この症例を通して、術式の習得、衛生環境、患者の口腔内管理を整えることが成功に導く要因のひとつであることが解った。また、初診から関わる衛生士が手術の際にも関わることで安心感を与え、処置中の偶発事故の予防になると考えます。また、良好なインプラント周囲組織の維持にはメンテナンスが重要と考えます。						

ISOI 国際口腔インプラント学会 学会認定資格更新について

全ての資格は、5 年毎に更新手続きが必要です。

一般社団法人 国際口腔インプラント学会 認定制度では、生涯にわたって研修を継続することが義務づけられています。次期更新までの 5 年間に学術大会・学術講演会・セミナー等へ参加し、更新手続きの際には 50 ポイントが必要となります。認定証は次回更新時まで大切に保存しておいてください。

講演会における取得ポイント

講演会	取得ポイント(1 回につき)
セミナー	10
ドイツ大会	20
会員発表	5
学術大会	10 ※ハンズオンセミナーを開催しない場合は 15 ポイント
ハンズオンセミナー	5 (1 コマ/半日)
アジアセミナー	15

認定更新料

オーソリティ	50,000 円
クリニカル	50,000 円
認定歯科技工士	10,000 円
認定歯科衛生士	10,000 円
認定歯科技工士	10,000 円

認定更新のための必要条件

1. 認定期間内の 5 年間に 50 ポイントを取得していること。
2. 更新までの期間中の年会費は全て納入していること。
3. 更新する資格認定証のコピー(A4)を事務局に送ること。
4. 更新料をすみやかに入金すること。

以上を理解し認定資格の取得を申請する方は、以下にサインの上、提出をお願いいたします。

20 年 月 日

氏名: _____